

## PCV2ワクチンに関する調査質問内容

Q1. 現在のご職業は次のうちどちらですか。

- 養豚生産者
- 養豚獣医師
- その他(回答終了)

Q2. 現在ご使用の子豚用PCV2ワクチンの種類は、以下のどれですか。(養豚獣医師の方は、主に推奨しているものを選択してください。)

- 単味PCV2ワクチン
- 混合PCV2ワクチン
- PCV2ワクチンは使用していない(回答終了)

Q3. 子豚にPCV2ワクチンを使用しているにもかかわらず、最近「PCV2を疑うような死亡や症状、損耗が増えてきた」と感じていますか？

- 非常に感じている
- 多少感じている
- あまり感じていない(回答終了)
- 全く感じていない(回答終了)

Q4. その要因は何だと思われますか。当てはまるものすべてを選択してください。

- PCV2の変異株(d型など)の増加
- ワクチンの投与時期がPCV2感染に間に合っていない
- 母豚から子豚へのPCV2感染が増えた
- PCV2の病原性が強くなってきた
- 混合ワクチンでは対処できないケースがある(投与タイミングの問題)
- 他の疾病が抑えられた分、PCV2を疑う症状などが目に付くようになった

# PCV2ワクチンに関する調査結果

調査期間	2023年3月23日～30日
対象	養豚生産者、養豚獣医師 合計 約550名
調査方法	調査会社から対象者へメール配信にてアンケート実施をアナウンス(計2回)。インターネットアンケート専用フォームへの入力による回答。
有効回答者数	123名 (養豚生産者55名、養豚獣医師68名。回答率 約22%)

(ゾエティス・ジャパン株式会社 調べ)  
※設問については巻末をご参照ください。

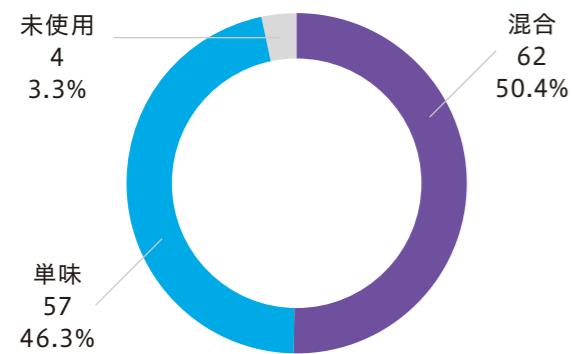
調査期間	2023年3月23日～30日
対象	養豚生産者、養豚獣医師 合計 約550名
調査方法	調査会社から対象者へメール配信にてアンケート実施をアナウンス(計2回)。インターネットアンケート専用フォームへの入力による回答。
有効回答者数	123名(養豚生産者55名、養豚獣医師68名。回答率 約22%)

※実際の設問については巻末をご参照ください。

## 総回答の結果

### Q2

現在使用中のPCV2ワクチンの種類はどちらですか？(養豚獣医師の方は、主に推奨しているものを選択してください。)(n=123)



ワクチン別の回答比較は右ページを参照ください

### Q3

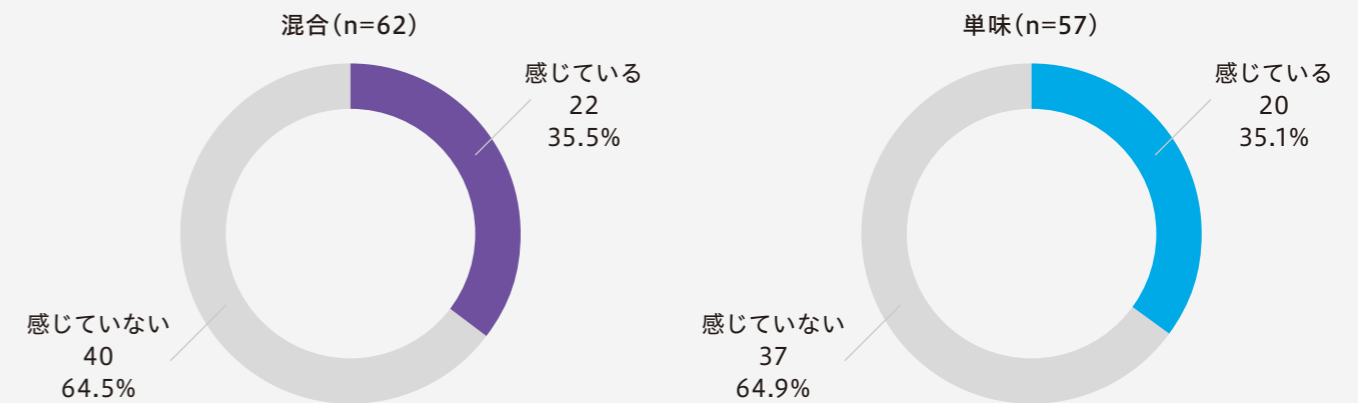
子豚にPCV2ワクチンを使用しているにもかかわらず、最近PCV2を疑うような死亡や症状、損耗が増えてきたと感じていますか？(n=119)



## 混合・単味ワクチン別の回答比較(Q2の回答比較)

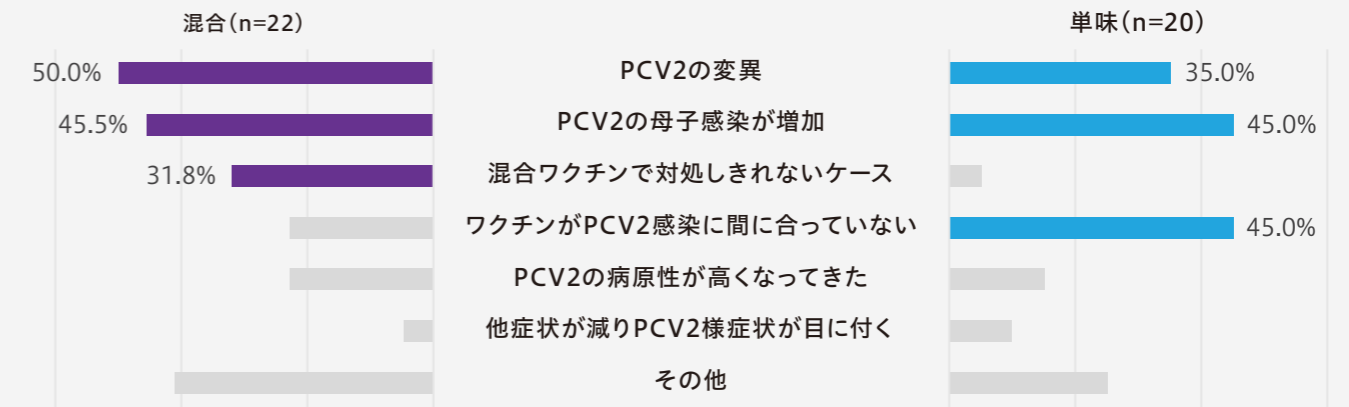
### Q3

子豚にPCV2ワクチンを使用しているにもかかわらず、最近PCV2を疑うような死亡や症状、損耗が増えてきたと感じていますか？



### Q4

PCV2を疑う死亡などが増えてきたと感じているその要因は何だと思いますか？当てはまるものを全て選択してください。



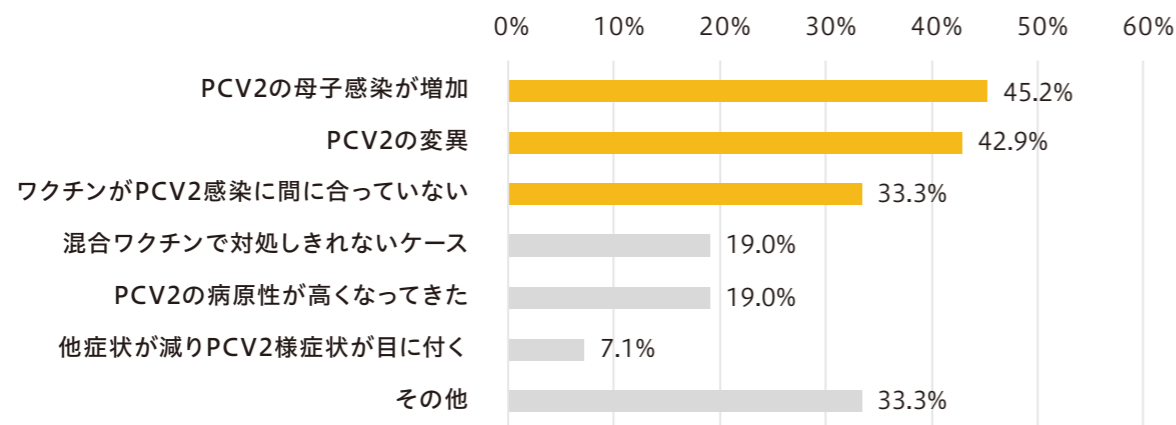
Q4の集計解析したところ、混合ワクチン回答者の半数以上が上位3つの組合せ回答でした。

(PCV2変異、PCV2母子感染、混合ワクチンで対処できないケース)

つまり混合ワクチン使用下でのPCV2様症状の発生要因は、複数疑われていることがわかりました。

### Q4

PCV2を疑う死亡などが増えてきたと感じているその要因は何だと思いますか？当てはまるものを全て選択してください。(複数回答、n=42)



## 今後の対策案

■PCV2の変異に対応しやすいワクチンの選択

■PCV2の感染時期・状況に合わせた単味・混合ワクチンの選択と投与時期の設定

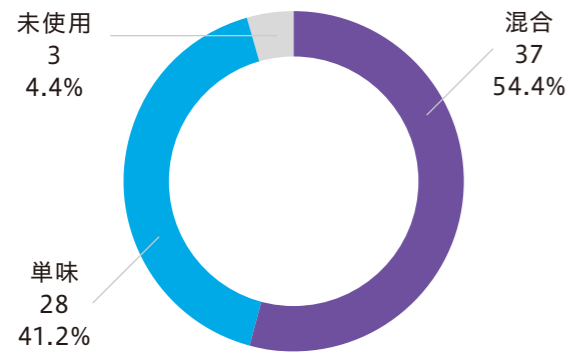
調査期間	2023年3月23日～30日
対象	養豚生産者、養豚獣医師 合計 約550名
調査方法	調査会社から対象者へメール配信にてアンケート実施をアナウンス(計2回)。インターネットアンケート専用フォームへの入力による回答。
有効回答者数	123名(養豚生産者55名、養豚獣医師68名。回答率 約22%)

※実際の設問については巻末をご参照ください。

## 獣医師68名の回答結果

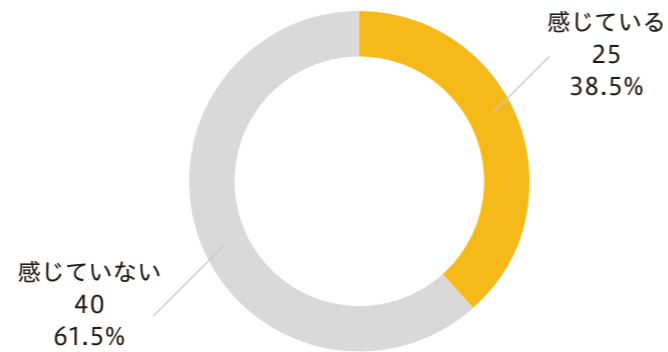
### Q2

現在使用中のPCV2ワクチンの種類はどちらですか？(養豚獣医師の方は、主に推奨しているものを選択してください。)(n=68)



### Q3

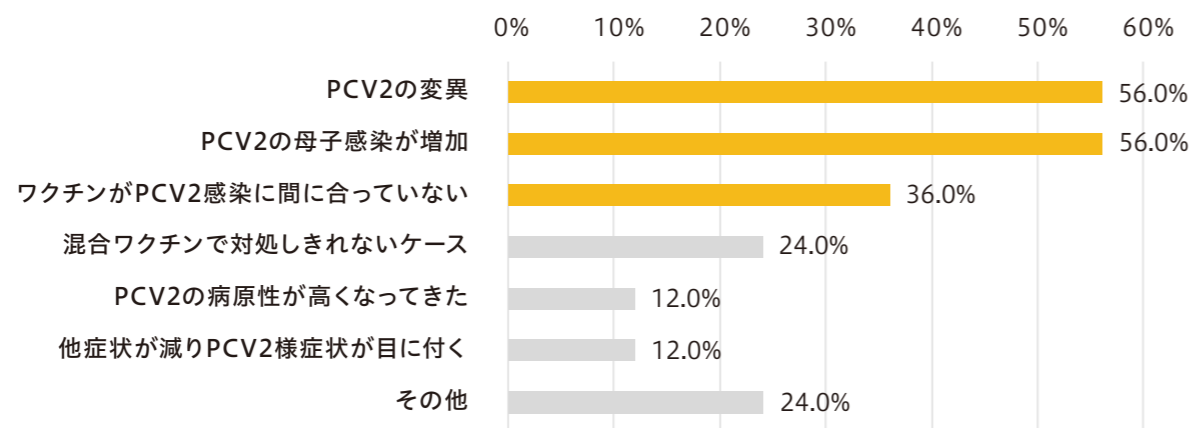
子豚にPCV2ワクチンを使用しているにもかかわらず、最近PCV2を疑うような死亡や症状、損耗が増えてきたと感じていますか？(n=65)



ワクチン別の回答比較は右ページを参照ください

### Q4

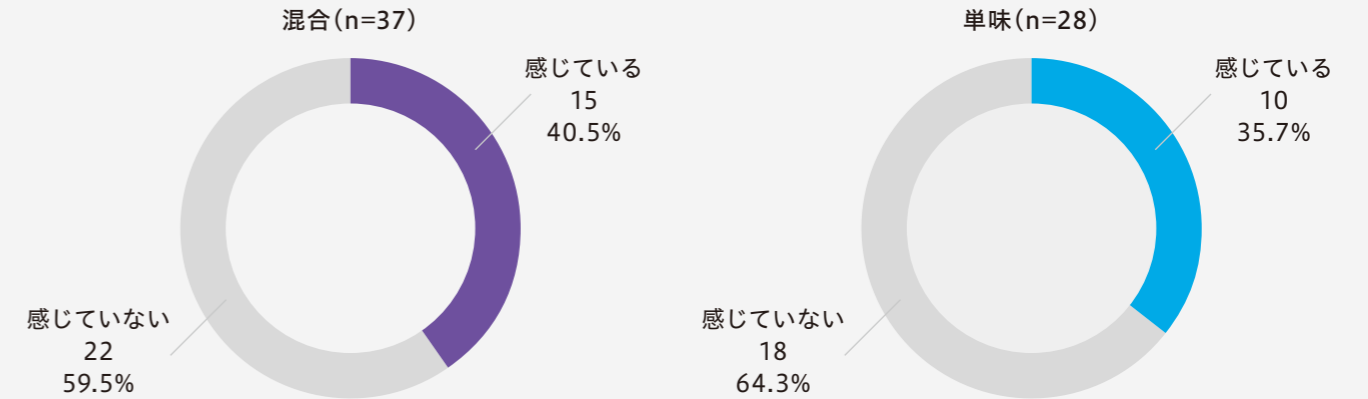
PCV2を疑う死亡などが増えてきた感じているその要因は何だと思いますか？  
当てはまるものを全て選択してください。(複数回答、n=25)



## 混合・単味ワクチン別の回答比較(Q2の回答比較)

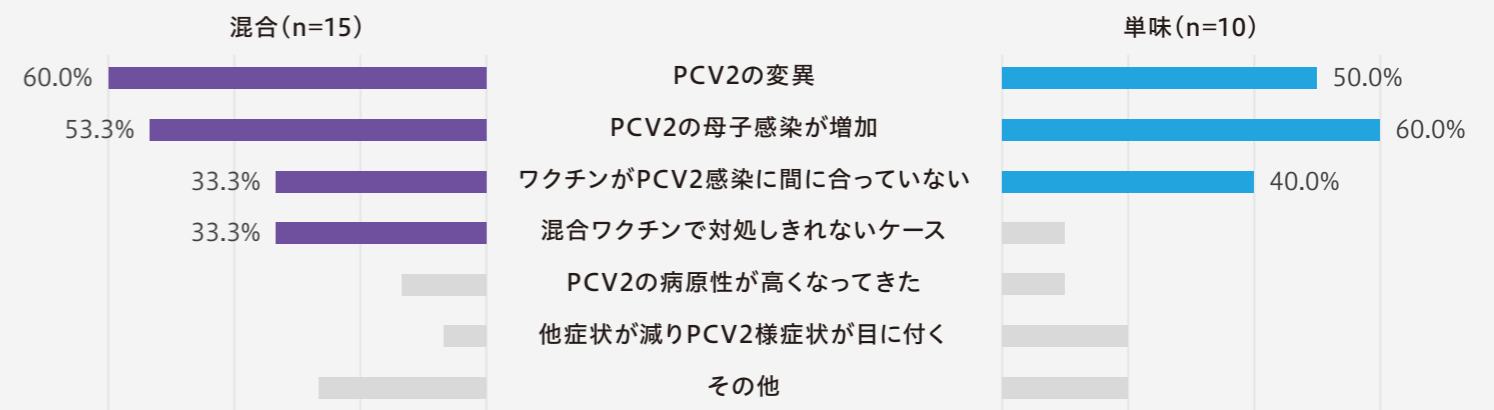
### Q3

子豚にPCV2ワクチンを使用しているにもかかわらず、最近PCV2を疑うような死亡や症状、損耗が増えてきたと感じていますか？



### Q4

PCV2を疑う死亡などが増えてきた感じているその要因は何だと思いますか？  
当てはまるものを全て選択してください。



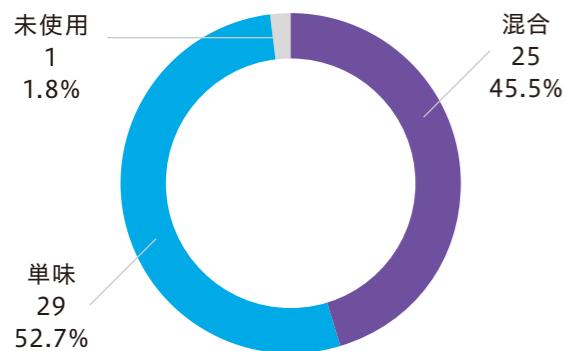
調査期間	2023年3月23日～30日
対象	養豚生産者、養豚獣医師 合計 約550名
調査方法	調査会社から対象者へメール配信にてアンケート実施をアナウンス(計2回)。インターネットアンケート専用フォームへの入力による回答。
有効回答者数	123名(養豚生産者55名、養豚獣医師68名。回答率 約22%)

※実際の設問については巻末をご参照ください。

## 生産者55名の回答結果

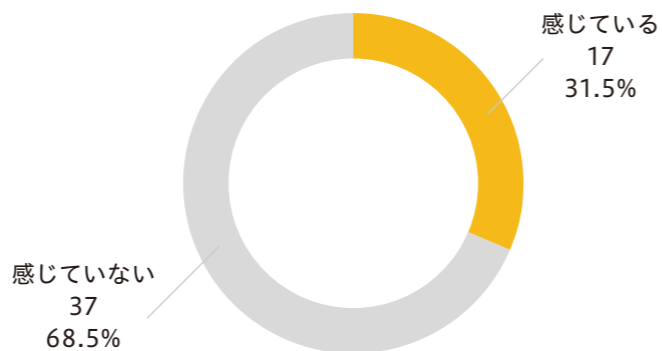
### Q2

現在使用中のPCV2ワクチンの種類はどちらですか？(養豚獣医師の方は、主に推奨しているものを選択してください。)(n=55)



### Q3

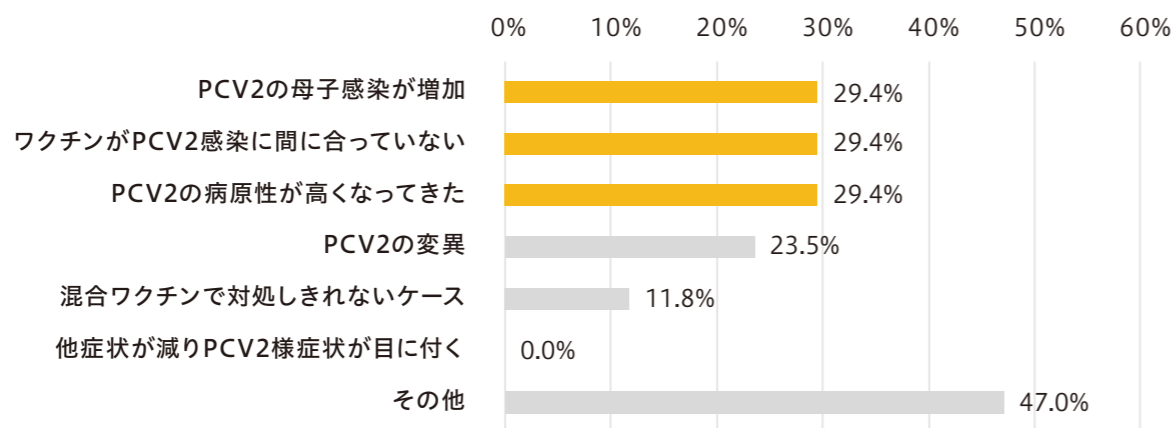
子豚にPCV2ワクチンを使用しているにもかかわらず、最近PCV2を疑うような死亡や症状、損耗が増えてきたと感じていますか？(n=54)



ワクチン別の回答比較は右ページを参照ください

### Q4

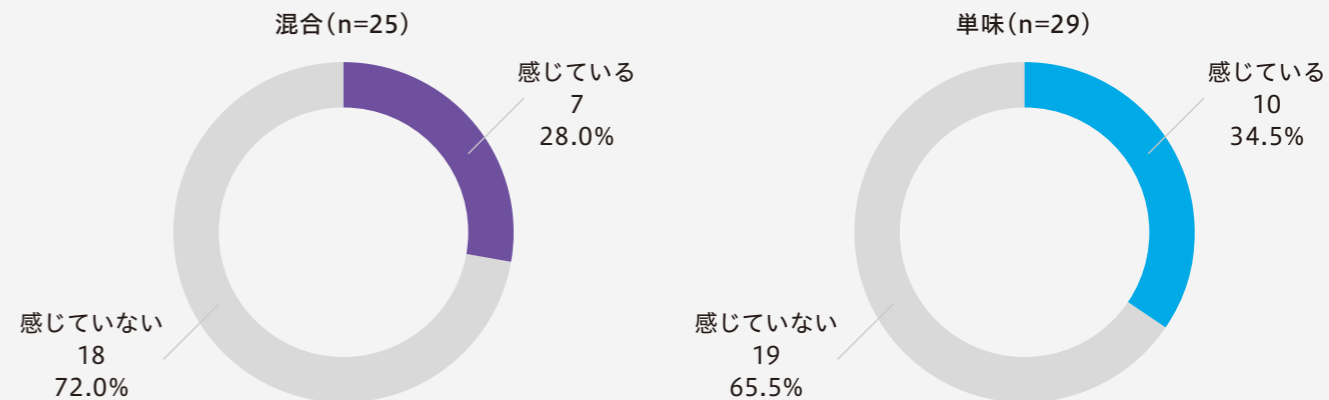
PCV2を疑う死亡などが増えてきた感じているその要因は何だと思いますか？  
当てはまるものを全て選択してください。(複数回答、n=17)



## 混合・単味ワクチン別の回答比較(Q2の回答比較)

### Q3

子豚にPCV2ワクチンを使用しているにもかかわらず、最近PCV2を疑うような死亡や症状、損耗が増えてきたと感じていますか？



### Q4

PCV2を疑う死亡などが増えてきた感じているその要因は何だと思いますか？  
当てはまるものを全て選択してください。

